

平成18年度（第50回）
岩手県教育研究発表会発表資料

外 国 語

**中学校第1学年英語科における
読み取る力を高めるための研究**
- 「Gアップシート」の活用をとおして -

平成19年1月9日
長期研修生
所属校 奥州市立江刺第一中学校
氏名 伊 勢 寛 臣

目 次

研究目的	1
研究仮説	1
研究の内容と方法	1
1 研究の内容と方法	1
2 授業実践の対象	1
研究結果の分析と考察	1
1 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想	1
(1) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本的な考え方	2
(2) Gアップシートを活用した学習活動を取り入れる意義	2
(3) Gアップシートを活用した学習活動を取り入れた学習指導の展開	3
(4) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想図	3
2 Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための手だての試案	5
(1) 手だての試案の作成	5
(2) 検証計画及び調査計画	5
3 授業実践、実践結果及び意識調査の分析と考察	5
(1) Gアップシートを活用した学習活動を取り入れた授業実践の概要	5
(2) 実践結果の分析と考察	10
(3) 意識調査の分析と考察	12
4 Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための学習指導についてのまとめ	13
(1) 成果	13
(2) 課題	13
研究のまとめと今後の課題	13
1 研究のまとめ	13
2 今後の課題	14

<おわりに>

【参考文献】

【参考Webページ】

研究目的

中学校学習指導要領では、英語科における「読むこと」の領域について、「英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする」ことが目標として掲げられている。この目標を達成するために、中学校第1学年においては、基本的な語彙や文法事項を習得すること及び簡単な英文について書かれていることの概要を理解することが重要である。

しかし、平成17年度学習定着度状況調査における第1学年英語の「読むこと」の領域においては正答率が79%であったものの、前年度と比較すると9ポイント下回るものであった。特に「英語を読んで対話の流れを理解する」問題の正答率は46%であった。生徒の実態を見ても、場面や状況に応じて適切に応答したり、長文を読んでその概要をとらえたりする問題に苦手意識をもっている。これは、学年や単元で身に付けるべき指導目標の明確化が不十分なままに指導していることや、それまで学習してきた語彙や文法事項の定着が十分に図られていないこと、さらに、英語を読み取る力を高めるための手だてが不足していることが原因であると考えられる。

このような状況を改善するためには、評価規準を基に、授業の目標をより明確にし、学習状況に応じた指導をしていくことと、生徒自身に実現状況を把握させながら学習に取り組ませることが大切である。そのために、評価規準に対応した問題を盛り込んだシート（Gアップシート）を、授業において活用することが必要であると考えられる。

そこで、この研究は、「Gアップシート」の活用をとおして、読み取る力を高めるための学習指導の在り方を明らかにし、中学校第1学年英語科の学習指導の改善に役立てようとするものである。

研究仮説

中学校第1学年英語科の学習において、「Gアップシート」の活用をとおして次のような指導を行えば、生徒の英語を読み取る力を高めることができるであろう。

- ・基礎・基本を確認したり、練習したりさせる。
- ・学習の実現状況を把握させ、個々の学習に取り組ませる。

研究の内容と方法

1 研究の内容と方法

- (1) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想の立案（文献法）
中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本的な考え方をまとめ、読み取る力を高めるための基本構想を立案する。
- (2) 基本構想に基づく手だての試案の作成（文献法）
基本構想に基づき、「Gアップシート」の活用をとおして読み取る力を高めるための手だての試案を作成する。
- (3) 授業実践、実践結果及び意識調査の分析と考察（授業実践、テスト法、質問紙法）
手だての試案に基づいて授業実践を行い、その分析をとおして、読み取る力の育成状況を考察する。
- (4) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための学習指導についてのまとめ
実践結果の分析と考察に基づき、中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための学習指導についてまとめる。

2 授業実践の対象

奥州市立江刺第一中学校 第1学年 2学級（男子36名 女子34名 計70名）

研究結果の分析と考察

1 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想

(1) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本的な考え方

ア 読み取る力について

学習指導要領では「聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」ことが目標として設定されている。そして、「英語を理解し英語で表現する能力を養う」ために、読むことの言語活動に関して、

(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと

(イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること

(ウ) 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること

(エ) 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること

について指導することとしている。

このことから、中学校英語科における「読み取る力」とは、「書かれた内容を正しく理解し、一語一文の意味解釈のみならず、話の大まかな流れをつかんだり、大切な部分をとらえて的確に把握し、書き手の伝えようとするを読み取る力」であると考えられる。この力は三年間をとおしての段階的、かつ継続的な指導により育成されるものであり、第1学年ではその初歩的な力を習得させることをねらいとする。

この読み取る力を身に付けるためには、実践的コミュニケーション能力の基となる「基礎的な力」、書かれた内容を「正確に把握する力」、書き手の意向を「思い描く力」の三つの力が必要であると考えられる。

「基礎的な力」とは、英語学習における基礎・基本である言語についての知識・理解である。具体的には「語彙力」(単語や連語及び慣用表現についての知識・理解)、「文法力」(語順を中心とした英文の構造についての知識・理解)、「音声と文字の連結力」(音声と文字の関係についての知識・理解)の三つである。

「正確に把握する力」とは、一語一文の意味解釈のもと、主部と述部を識別し、書かれた内容を正確に把握する力である。

また、「思い描く力」とは、話の展開や中心となる事柄を把握し、書き手が伝えようとする内容の全体像を思い描く力である。

これら三つの力が相互に作用しあうことで、読み取る力が高まっていくものと考えられる。

そこで、本研究が目指す生徒の姿を、「実践的コミュニケーション能力の基となる英語学習における基礎・基本を身に付け、書かれた内容を正確に把握し、書き手の意向を思い描くことができる」とする。

イ 読み取る力を高めることの意義

平成17年度学習定着度状況調査の結果をみると、「読むこと」の領域全体に関しては、3学年をとおしておよそ60%~80%の正答率であるが、「あらすじや大切な部分を読み取る」問題において、正答率はおよそ30%~50%という低い値を示している。

「あらすじや大切な部分を読み取る」ためには、語や文の単位の理解はもちろんのこと、まとまりのある文章の概要を理解することが必要である。

読み取る力を高めることは、書かれた内容を正確に把握したり書き手の意向を理解する力を育成することであり、それによって生徒は思考を働かせる力を身に付けることができ、「実践的コミュニケーション能力」へと結びついていくという点で意義がある。

(2) 「Gアップシート」を活用した学習活動を取り入れる意義

ア 「Gアップシート」とは

「Gアップシート」とは、本県の学力向上に資するよう内容を検討した評価規準(「いわてスタンダード」)に対応した学習シートである。

「いわてスタンダード」とは学習指導要領及び国立教育政策研究所作成の評価規準を基に、本県の生徒の実態をふまえて、英語科において生徒に身に付けさせたい「中核となる力」を明

確に示したものである。

本研究における「中核となる力」は、領域「読むこと」及び領域「言語や文化についての知識・理解」にかかわる次の五点である。

- ・授業で学習したさまざまな基本的な文型や表現について理解し、正しく使うことができる。
 - ・簡単な英文を読んで、その内容を理解できる。
 - ・既習の文法知識を活用して、書かれた内容を正しく読み取ることができる。
 - ・キーワードをおさえるなどして、書かれている話題（トピック）や、書き手のメッセージを読み取ることができる。
 - ・伝言レベルの短い簡潔な文章を読んで、書き手の意向を理解し、適切に応じることができる。
- 先に述べた「基礎的な力」「正確に把握する力」「思い描く力」は、これらの「中核となる力」と関連している。

また、「Gアップシート」は、生徒の学習を直接支援するものであり、次のようなことをねらいとしている。

- ・シート問題に取り組むことで、各自の学習の理解や定着の状況が把握できる。
- ・シート問題に取り組むことで、各自の学習課題が把握できる。
- ・シート問題に取り組むことで、補足的な学習や発展的な学習ができる。

また、英語科の「Gアップシート」は1年を4分割した「クールA～D」で構成されている。各クールにおいては、教科書（の各ユニット等）で学習する言語材料などに関連付けられた具体目標が設定されており、各シートはその目標を達成させるための準備・練習として位置付くよう作成されている。

イ Gアップシートを活用した学習活動を取り入れる意義

上述のとおり、Gアップシートは各単元の評価規準に基づいて作成されている。シートを活用することにより、教師が授業の目標の明確化を図って指導することができるという点や、生徒自身に実現状況を把握させることができるという点、また、そのことによって個々の生徒の課題が明らかとなり、指導の焦点化を図ることができるという点において、本県の教育の最重要課題である「学力向上」に資するものとして意義がある。

(3) Gアップシートを活用した学習活動を取り入れた学習指導の展開

ア 授業の導入時における活用（前時の復習）

前時の授業において学習した語彙や文法の確認・定着を図るという目的で、復習あるいは小テストとしての活用が考えられる。活用の結果によって、十分に定着が図られていない部分については更に補足・補充することができ、また、定着が図られた部分については発展・応用へとつなげることができる。

イ 授業の展開時における活用（語彙・文法・音声の確認及び練習）

一斉指導において語彙や文法の指導をするが、指導内容がどの程度定着されているのかをその場で確認したり、指導した内容の練習をさせたりする目的での活用が考えられる。確認、練習の結果不十分な点については、個々の状況に応じて適宜対応することができる。

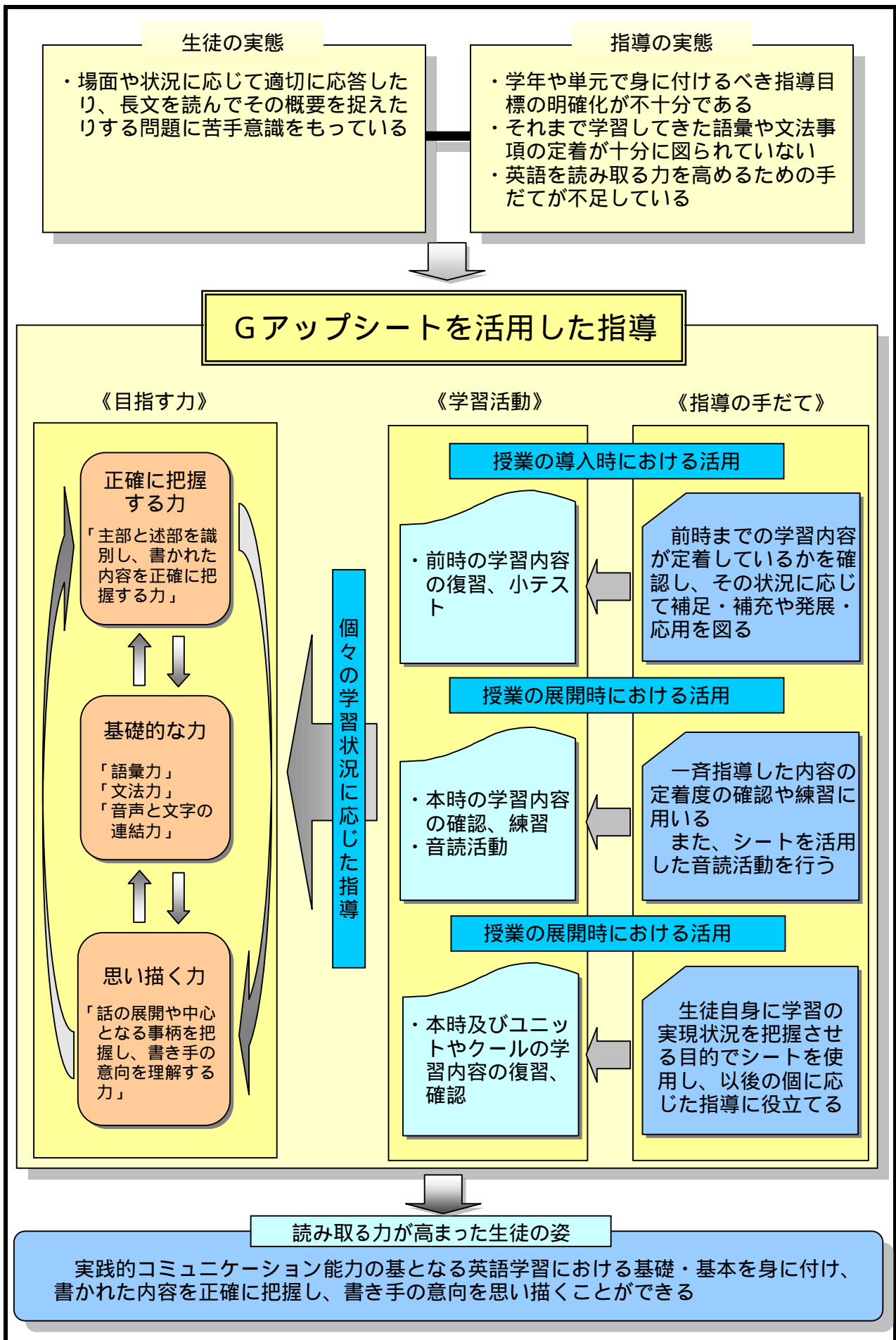
また、シートの問題文を用いて音読活動を行うことで、教科書以外の題材にも幅広く触れさせることができ、「音声と文字の連結力」を高める指導における効果も期待できる。

ウ 授業の展開時における活用（英文を読み取る練習）

毎時の授業や各ユニット、各クールの中で学習したことがどの程度理解できたかを授業の展開時にシートで確認することで、生徒自身に学習の実現状況を把握させることができる。それによって以後の学習の方向性を示し、個に応じて、補足・補足的な指導や発展・応用的な指導を行うことができる。

(4) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想図

これまで述べてきたことを基に、中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想図を4頁【図1】のようにまとめた。



【図1】中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想図

2 Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための手だての試案

(1) 手だての試案の作成

基本構想で述べたことを基に、以下の点に留意して、Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための手だての試案を6頁【図2】のように作成した。

ア 中学校1年生2学期の段階における「読み取る力」について

前述のとおり、「読み取る力」は三年間をとおして系統立てて段階的に身に付けていくものである。「読み取る力」を身に付けるために必要な三つの力のうち、「思い描く力」については、「基礎的な力」や「正確に把握する力」と相互に作用しながら、様々な言語材料やまとまった文章に継続的に触れる中で高まるものとする。中学校1年生の2学期においては、扱っている語彙や言語材料、文章量に限りがあることから、手だての試案は「基礎的な力」と「正確に把握する力」を高めることに焦点を当てて作成するものとする。

イ 授業構成について

教科書の1小単元（Unit 5のPart 1～3）をそれぞれ2時間（合計6時間）で構成する。

最初の1時間では、基本文の学習を行い、「語彙」や「文法の知識」を文字や音声を通じて確認、練習することに重点を置く。

次の1時間では、教科書本文の内容理解とGアップシートの長文問題に取り組み、書かれている事柄を読み取る学習に重点を置く。

それぞれの時間にGアップシートを用いることで、教師にとっては指導目標が明確となり、また生徒にとっては自分自身の実現状況の把握が容易になるものとする。

(2) 検証計画及び調査計画

授業実践をとおして手だての試案の有効性をみるために、【表1】の検証計画を作成した。また、【表2】の手だてに関する意識にかかわる調査計画を作成し、Gアップシートを活用した学習の意識について調査することとした。なお、手だての試案に基づき、検証内容は「基礎的な力」と「正確に把握する力」の二点とした。

【表1】検証計画

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
読み取る力の育成状況	・基礎的な力 ・正確に把握する力	テスト法により、事前事後に実施する	t検定(平均の差の検定)を行い分析・考察する

【表2】手だてに関する意識にかかわる調査計画

調査内容	調査方法	処理・解釈の方法
Gアップシートを活用した学習の意識の状況	質問紙法により、授業実践後に実施する	記述内容から分析・考察する

3 授業実践、実践結果及び意識調査の分析と考察

(1) Gアップシートを活用した学習活動を取り入れた授業実践の概要

授業実践は奥州市立江刺第一中学校第1学年2学級（男子36名 女子34名 計70名）を対象とし、平成18年8月30日から9月26日まで行った。

7頁【資料1】は単元「Unit 5 ピクニックに行こう」の指導計画（6時間）、8頁～9

頁【資料2】【資料3】は、Gアップシートを活用した学習活動を取り入れた授業実践の概要であり、2時間構成の授業の流れを示す。

時間	段階	学 習 活 動	Gアップシートの活用	指導上の留意点
1 時 間 目	導 入	1 既習事項の復習をす る	・シートを用いて、本時の基本 文の学習につながる既習事項 の復習を行う 導入時における活用	・口頭で、あるいは教科書等 を用いて復習を行った後、シ ートで学習内容を確認させる ・答え合わせ後に音声活動と 結びつけて、学習内容の定 着を図る
	展 開	2 基本文を理解する	・学習事項の練習をする 展開時における活用	・基本文についての説明を加 えた後、シートの練習問題に 取り組ませる ・答え合わせ後に音声活動と 結びつけて、学習内容の定着 を図る
	終 末	3 本時の学習のまとめ をする		・本時の学習事項についてノ ートにまとめさせ、学習の定着 を図る
2 時 間 目	導 入	1 前時の学習内容を思 い出す	・前時に課した宿題や課題を基 にシートを用いて小テストを 行う 導入時における活用	・前時に使用したシート等を用 いて前時の復習を行ってから、 小テストを行う ・答え合わせ後に音声活動と 結びつけて、前時の学習内容 の想起及び定着を図る
	展 開	2 教科書本文の内容理 解をする 3 まとまりのある英文 を読み取る	・「読み取り」シート（補充資 料2を参照）を用いて「読み 取り」の練習をする 展開時における活用	・語彙の確認、本文の音読練習 をとおして英語に十分触れさ せた上で、補助シート（補充 資料4を参照）を用いて本文 の内容を理解させる ・内容を理解させた後、再度音 読練習を行い、理解の定着を 図る ・教師の後について本文を音読 させた後、問題に取り組ませ る ・答え合わせの後に再度音読練 習を行い、内容理解の定着、 音声と文字の連結を図る
	終 末	4 本時の学習のまとめ をする		・自己評価をとおして、本時の 目標をどの程度達成できたか を把握させる

【図2】Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための手だての試案

【資料1】単元（Unit 5）の指導計画（Part 1～Part 3まで、6時間扱い）

小単	時	指導目標	学習活動	Gアップシートの活用
P a r t 1	1	名詞の複数形を理解させる	「数」を表す単語の復習をする 名詞の複数形の表し方を理解し、練習する 教師が話した英語を聞き取る 本時の学習のまとめをする	導入時に使用 ・既習である「数」を表す単語の復習をさせる 展開時 に使用 ・複数形の表し方を確認し、練習させる ・教師が話した英語について書き取らせる
	2	教科書本文の内容理解をさせる まとまりのある英文を読み取らせる	新出語句の確認、練習をする 教科書本文の音読練習をする 教科書本文の内容理解をする まとまりのある英文を読み取る練習をする	導入時に活用 ・小テストとして用い、前時の学習の復習を図る 展開時 に使用 ・「読み取り」用のGアップシートを用いて、読み取る練習をさせる
P a r t 2	3	"How many ~"の表現を理解させる	既習事項の復習をする 「いくつ」とたずねる表現を理解し、練習する 本時の学習のまとめをする	導入時に活用 ・基本文にかかわる既習事項について復習させる 展開時 に使用 ・基本文の練習をさせる
	4	教科書本文の内容理解をさせる まとまりのある英文を読み取らせる	新出語句の確認、練習をする 教科書本文の音読練習をする 教科書本文の内容理解をする まとまりのある英文を読み取る練習をする	展開時 に使用 ・「読み取り」用のGアップシートを用いて、読み取る練習をさせる
P a r t 3	5	"Let's ~"と命令文の表現を理解させる	既習事項の復習をする "Let's ~"と命令文の表現を理解し、練習する 本時の学習のまとめをする	導入時に活用 ・既習の動詞の復習をさせる 展開時 に使用 ・基本文の練習をさせる
	6	教科書本文の内容理解をさせる まとまりのある英文を読み取らせる	新出語句の確認、練習をする 教科書本文の音読練習をする 教科書本文の内容理解をする まとまりのある英文を読み取る練習をする	導入時に活用 ・前時に宿題として指示をしており、前時の学習の復習を図る 展開時 に使用 ・「読み取り」用のGアップシートを用いて、読み取る練習をさせる

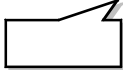


【資料2】授業実践の概要（1 / 6 時間）

本時の目標：名詞の複数形を理解することができる

シートの具体的活用方法 T：教師の働きかけ 生徒の様子 シート以外の学習内容
S：生徒の反応

段階	学習活動	Gアップシートの活用
導入	<p>「数」を表す単語の復習をする</p> <p>T：以前学習した数を表す単語を思い出して、シートの【1】に書いてみましょう。</p> <p>T：どうしてもわからない人や思い出せない人は、教科書の22ページを見てみましょう。</p> <p>すらすらと書ける生徒は数人いた。しかし、なかなか書き出せない生徒が多かった。わからないときは教科書を見るように指示したところ、ほとんどの生徒が時間内に書き終わることができた。</p>	<p>Gアップシートの活用</p> <p>第1学年英語科 Unit 5 ピクニックに行こう (Cours B-1)</p> <p>Gアップシート このシートの目標：Part 1に出てくる基本文の確認をしよう</p> <p>Class No. Name</p> <p>【1】 1～10までの数を英語で書きなさい。また、声に出して読みなさい。</p> <p>1 2 3 4</p> <p>5 6 7</p> <p>8 9 10</p> <p>1 シートに単語を書かせる 2 教科書22ページを見ながら、自分で答え合わせをさせる 3 解答状況を挙手により確認する 4 学習内容の定着を図るために、教師の後について発音練習をさせる</p>
展開	<p>名詞の複数形の表し方を理解する</p> <p>1 複数形の作り方についての説明を完成させる（下線部に文字を書き入れる） 2 単数形を複数形に直して書かせる 3 ペアで答えあわせをさせる 4 解答状況を挙手により確認し、解説する 5 学習内容の定着を図るために、教師の後について発音練習をさせる</p> <p>T：「es」が付く単語は二つあります。まだ確認していないことなのだから、間違えてもいいので、まず書いてみましょう。</p> <p>【3】 先生が話す英語を下の4線に書きなさい。 例：two guitars</p> <p>T：「もの」が2つ以上あるときは、何が付くんですか。 S：「s」や「es」 T：そうですね。そこに気を付けて、聞き取った単語を書いてみましょう。それぞれ3回ずつ話します。</p>	<p>1 「もの」が描かれたカードを見て、その名前を単数形で確認する 2 教師の発話内容及び教科書の注釈から、複数形の作り方について確認する 3 班内で協力しながら、教師が話す「数」と「もの」を口頭で言わせる</p> <p>【2】 次の日本語の空欄に適切な語をいれ、下の単語の複数形を書きなさい。</p> <p>名詞を複数形にするときは、単語の終わりに_____や_____をつける。</p> <p>(1) cat _____ (6) dog _____</p> <p>(2) T-shirt _____ (7) sweater _____</p> <p>(3) desk _____ (8) eraser _____</p> <p>(9) train _____</p> <p>(10) box _____</p> <p>1 シート【1】【2】で使った単語を使い、教師が例にならって英語を話し、書き取らせる 2 生徒に解答を黒板に書かせ、全体で答え合わせをする 3 シート【1】【2】を参考に解説する 4 学習内容の定着を図るために、教師の後について発音練習をさせる</p> <p>単数形を複数形に直す問題については、ほぼ問題なく記入することができていた。生徒同士教え合ってもよいことにしたので、すでに終わった生徒が、まだ終わっていない生徒に教える場面が見られた。 聞き取り問題では、聞き取れるが書けない生徒が見られた。シート【1】や【2】を見ながら書くよう指示したところ、約2/3の生徒が正解することができた。</p>

【資料3】授業実践の概要（2 / 6 時間）

本時の目標：教科書本文の内容を理解することができる まとまりのある英文を読み取ることができる		
	シートの具体的な活用方法	 T：教師の働きかけ S：生徒の反応
	生徒の様子	 シート以外の学習内容
段階	学習活動	G アップシートの活用
導入	<p>前時の学習内容を小テストで確認する</p> <p>シート B-1【3】のみの用紙を配布し、前時と同様、例にならって教師が発音し、それを書き取らせる</p>  <p>名詞の複数形には「s」や「es」が付くということはほとんどの生徒が覚えていたが、聞き取った単語を書き取ることができない生徒が多かった。そこで、前時のシートを見直す時間を設けたり、話す速さを調節したところ、解答できる生徒が増えた。</p>	<p>【3】 先生が話す英語を下の4線に書きなさい。 例： two guitars</p> <p>T：前回の授業ではどんなことを勉強しましたか。 S：複数形です。 T：そうですね。「もの」が2つ以上あるときは、単語の終わりに何が付くんでしたね。 S：「s」や「es」 T：そのとおりです。ではこの前と同じように、今から話す単語を書いてみましょう。</p>
展開	<p>G アップシートの読み取り問題に取り組む（シート B-2）</p> <p>T：佐藤先生が「私は…」と述べている文に線を引いてください。「赤ペンで」と指示がありますが、間違えたときに直せるように鉛筆で線を引きましょう。</p> <p>T：教科書 Unit 3 で勉強したことが出ていますので、わからない人は参考にしてみましょう。</p> <p>T：あなたが佐藤先生を紹介するので、主語は「私は」ではないですね。 S：「先生は」「彼女は」ですか。 T：そうですね。</p> <p>(1) の線を引く問題については、ほとんどの生徒が取り組むことができていた。しかし中には問題の意図を十分に理解していないため、佐藤先生のせりふ全部に線を引く生徒もいた。 (2) の紹介文の作成は、日本語で書く問題にも関わらず、書き出せない生徒が多かった。そこで、「『こちらは佐藤先生です。』に続けて、何て紹介しますか。」と問いかけたところ、書き出すことのできる生徒が増えてきた。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 教科書の新出語句について、発音練習・意味の確認を行う 教科書本文の音読練習を行う 補助シートを用いて、教科書本文の内容確認を行う <p>第1学年英語科 読み取りシート (Cours B-2)</p> <p>G アップシート このシートの目標：会話を読み取る</p> <p>Class No. Name</p> <p>【1】 英語の時間に佐藤先生が自己紹介をしています。よく読んで、以下の問いに答えなさい。</p> <p>Ms.Sato : Hello, everyone. I'm Sato Kazuko. I'm from Morioka. I like tennis. I like music, too. I play the piano. Emi : Do you play the guitar, too? Ms.Sato : No, I don't. But I play the violin, too. Shin : Do you come to school by car? Ms.Sato : Yes, I do. I drive a car. Do you come by bike? Shin : No, I don't. I walk to school.</p> <p>(1) 佐藤先生が自分のことについて述べている文に線を引いてください。 (2) あなたが佐藤先生を紹介する文を日本語で書きなさい。</p> <p>1 教師の後について、本文を音読させる 2 個人で問題に取り組ませる（10分間） 3 全体の場で生徒に発表させて、答え合わせをする 4 解答状況を確認して、解説する 5 学習内容の定着を図るために、教師の後について本文の音読練習をさせる</p> 

(2) 実践結果の分析と考察

授業実践をとおして手だての試案の有効性をみるために、読み取る力を育成するために必要と考える「基礎的な力」「正確に把握する力」について、授業実践の前後に同一問題でテストを実施し、その結果をt検定によって比較し、それぞれの育成状況をとらえた。

ア 「基礎的な力」の育成状況について

【表3】は、「基礎的な力」の育成状況について、t検定の結果を表したものである。この結果から、有意差が認められた。

【図3】は、「基礎的な力」に関する設問の正答率の比較を示したものである。成績群の比較においては、事前テストの合計点によって得点の多い順に並べた後、上位群を22名、中位群を22名、下位群を20名と3分割して比較することとした。

事前テストにおいてはこの部分の全体の正答率が71.0%であったが、事後テストにおいては81.5%に上昇した。また、成績群の比較を見ると、いずれの群においても正答率の上昇が見られるが、特に下位群においては13.8ポイントという大きな伸びが見られた。

問1の語彙力をみる問題は、事前テストにおいて「(4)名詞」が67.2%、「(5)数字を表す単語」は62.5%と他の問題に比べて正答率が低かったが、事後テストではど

【表3】「基礎的な力」の育成状況

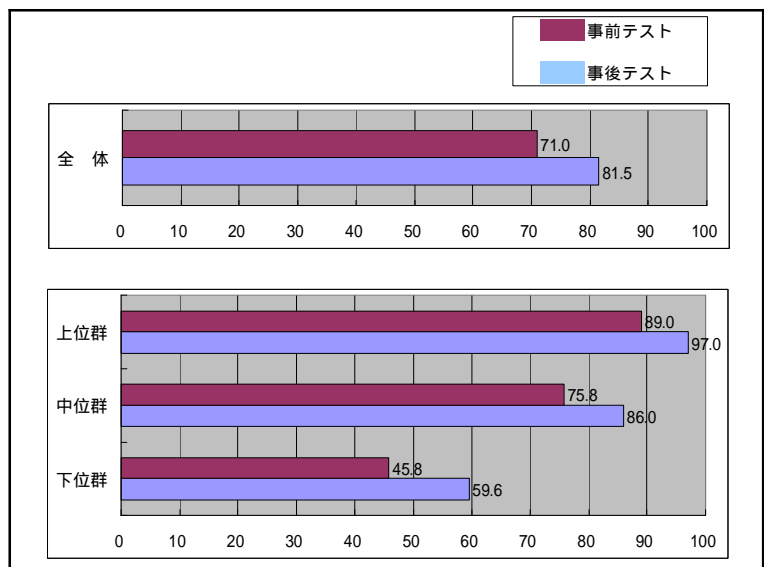
検証内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	t値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
基礎的な力の育成状況	8.52	2.58	9.78	2.39	0.84	7.15	*

n = 64

「注」 1 事前テストは8月30日、事後テストは9月25・26日に実施
 2 問題数は12問
 3 *印は、t検定において有意水準5%で有意差があることを示している
 4 t検定に用いた公式は、次のとおりである

$$t = \frac{\bar{X}_2 - \bar{X}_1}{\sqrt{\frac{S_1^2 + S_2^2}{n-1} - 2rS_1S_2}}$$

\bar{X}_1 と \bar{X}_2 は、事前と事後テストの平均点
 S_1 と S_2 は、事前と事後テストの標準偏差
 r は相関係数、 n は人数を表す



【図3】「基礎的な力」に関する設問の正答率の比較

ちらも78.1%へ上昇しており、伸びを確認することができた。また、問2は語順整序により文法の知識をみる問題であるが、事前テストにおいて「(2)be動詞の疑問文」の正答率は51.6%、「(5)定型文」は53.1%であったものが、事後テストではそれぞれ60.9%、67.2%と大きな伸びを示している。

名詞の複数形の指導では、数を表す単語や名詞を読んだり書いたりする練習において、また、数をたずねる文や命令文の指導では、動詞の使い方の復習においてGアップシートを用いた。その結果、生徒達は単語を書いたり発音したりする練習を繰り返してたくさん行うことができ、学習内容の定着が図られ、語彙力や文法力の向上につながったものと考えられる。

このことから、Gアップシートの活用は、「基礎的な力」を育成することに効果があったと考えられる。

イ 「正確に把握する力」の育成状況について

【表4】は、「正確に把握する力」の育成状況について、t検定の結果を表したものである。この結果から、有意差が認められた。

【図4】は、「正確に把握する力」に関する設問の正答率の比較を示したものである。事前テストにおいてはこの部分の全体の正答率が64.1%であったが、事後テストにおいては76.2%に上昇した。また「基礎的な力」と同様、下位群の正答率の比較においては、事前テストが38.3%であったのに対して事後テストでは58.8%と、22.5ポイントの伸びが見られた。

【表5】は、「正確に把握する力」に関する設問の誤答分析結果を示したものである。問3の「2人の会話の内容に合う絵を選択する」問題は、事前テストにおいて48.4%の正答率であったが、事後テストにおいては60.9%であった。誤答分析をしたところ、事前テストでは正解ウに対してイと解答する生徒が46.9%あり、これは会話文中の"It's not a big dog."を正しく読み取ることができなかったものと思われる。事後テストではイと解答した生徒が34.4%に減少している。

また、問5の「会話の内容に合う日本語文を選択する」問題では、(1)が79.7%から93.8%へ、(3)では65.6%から82.8%へ上昇している。誤答分析の結果、(1)では正解イに対してウが6.3%、エが10.9%であった。

これは「ヒカル」のせりふ中の"big"の意味がわからない、「I like big cars.」が「ヒカル」のせりふであることに気付かない、全体的に会話文の内容理解ができていないことに起因するものと思われるが、事後テストにおいてはどちらの誤答も1.6%に減少している。(3)では正解ウに対してアが3.1%、イが20.3%、エが9.4%であった。これは「ホワイト先生」の"I like cars."というせり

【表4】「正確に把握する力」の育成状況

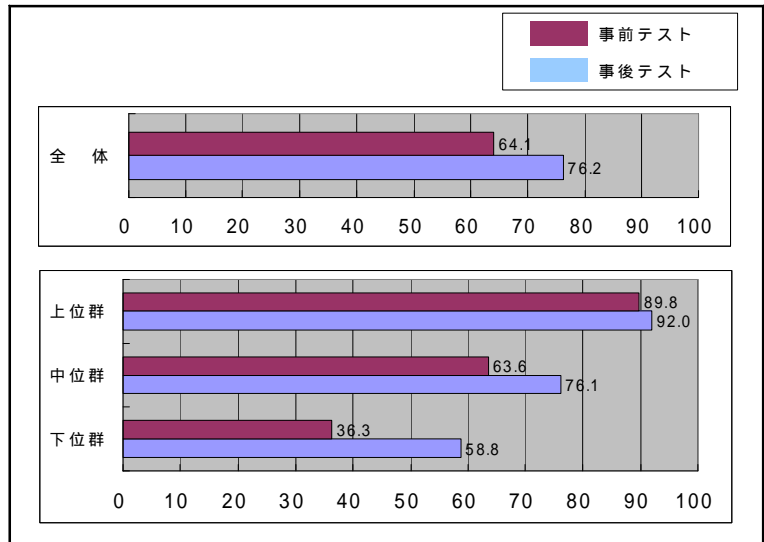
検証内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	t値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
正確に把握する力の育成状況	2.56	1.18	3.05	0.98	0.67	4.32	*

n = 64

「注」 1 事前テストは8月30日、事後テストは9月25・26日に実施
 2 問題数は4問
 3 *印は、t検定において有意水準5%で有意差があることを示している
 4 t検定に用いた公式は、次のとおりである

$$t = \frac{\bar{X}_2 - \bar{X}_1}{\sqrt{\frac{S_1^2 + S_2^2 - 2rS_1S_2}{n-1}}}$$

\bar{X}_1 と \bar{X}_2 は、事前と事後テストの平均点
 S_1 と S_2 は、事前と事後テストの標準偏差
 r は相関係数、 n は人数を表す



【図4】「正確に把握する力」に関する設問の正答率の比較

【表5】「正確に把握する力」に関する設問の誤答分析結果

問		ア	イ	ウ	エ
3	事前	3.1	46.9	48.4	0.0
	事後	3.1	34.4	60.9	1.6
5 (1)	事前	3.1	79.7	6.3	10.9
	事後	3.1	93.8	1.6	1.6
5 (3)	事前	3.1	20.3	65.6	9.4
	事後	0.0	10.9	82.8	6.3

「注」・数値は%
 ・各問の網掛けはそれぞれの正答を示す
 ・合計が100%にならないところは無解答などによる

ふから、車で通勤していると判断した、「ヒカル」のせりふ"I come by bike."を「ホワイト先生」のせりふと取り違えたものと思われる。事後テストにおいてはアが0%、イが10.9%、エが6.3%に減少している。

授業では、シート「B - 2・4・6」を用いて読み取りの練習をさせた。この時期に扱う教科書の題材は文章量が少ないが、シートの問題では教科書より多い文章を読ませるようになっており、シートを使うことで一定量の英文に慣れたことや、まとまった文章を読む練習を繰り返したことが正答率の上昇につながったものと考えられる。一方、上位群における比較からは、正答率の上昇は見られるものの、事前と事後における得点の伸びにあまり差が見られなかった。この生徒たちに対する発展的な学習について工夫する必要があると感じた。

これらのことから、課題はあるものの、Gアップシートの活用は「正確に把握する力」を育成することに効果があったと考える。

(3) 意識調査の分析と考察

事後テストの後に、Gアップシートを活用した学習についての意識調査を行った。【資料4】は事後アンケートの抜粋である。

Gアップシートの有用感について調査したところ、【表6】に示すとおり、「役に立った」「どちらかといえば役に立った」と肯定的な回答をした生徒が66人中62人(93.9%)であった。否定的な回答をした生徒は4人(6.1%)であったが、「4：役に立たなかった」と回答した生徒はいなかった。

肯定的な回答をした生徒に、「どのような点が役に立ったのか」をたずねたところ、「分からなかったところが分かるようになった」「授業で学習した内容をすぐに確認することができた」「家庭学習などで、復習に使うことができた」という回答が多かった。

【表7】は設問4の「力：その他」及び設問6の自由記述の回答をまとめたものである。設問6については同様の趣旨の回答が大多数であったので、

【資料4】事後アンケート(抜粋)

3 「Gアップシート」を使った学習はあなたの役に立ちましたか。
下から1つ選び「○」をつけなさい。

1 2 3 4
 役に立った どちらかといえば役に立った どちらかといえば役に立たなかった 役に立たなかった

4 3で「1」「2」と答えた人にたずねます。
「Gアップシート」はどのような点で役に立ちましたか。
当てはまるものをすべて選び、記号に「○」をつけなさい。
また、選択肢以外に意見のある人は箱の中に記述しなさい。

ア 授業で学習した内容をすぐに確認することができた。
 イ 家庭学習などで、復習に使うことができた。
 ウ たくさん問題を解くことで、たくさん練習することができた。
 エ どう勉強すればよいか分かった。
 オ 分からなかったところが分かるようになった。
 カ その他(下の箱の中に記入しなさい。)

~~~~~

6 「Gアップシート」について、使ってみての感想、気づいたこと、ここがよかった、ここは直した方がよい、など自由に記述しなさい。

#### 【表6】事後アンケートの集計結果

| 設問3    |      | N = 66 |     |   |  |
|--------|------|--------|-----|---|--|
| 回答     | 1    | 2      | 3   | 4 |  |
| 人数     | 32   | 30     | 4   | 0 |  |
| 割合 (%) | 48.5 | 45.4   | 6.1 | 0 |  |

| 設問4 |    |    |    |    |    |   |
|-----|----|----|----|----|----|---|
|     | ア  | イ  | ウ  | エ  | オ  | カ |
| 人数  | 37 | 32 | 20 | 18 | 38 | 4 |

「注」 複数回答あり

#### 【表7】設問4・6の回答状況(抜粋)

|       |                                                   |
|-------|---------------------------------------------------|
| 設問4：力 | ・先生と一緒にといていくと、分かりやすかった                            |
|       | ・前は読み方しか勉強していなかったけど、Gアップシートで書く練習もできてよかった          |
|       | ・長文を読んで答える問題の解き方が分かった                             |
|       | ・ノートにはっていつでも確認ができたし、大事なところがたくさん問題に出ていたので練習できたよかった |
| 設問6   | ・Gアップシートがあったので、分からない部分もしっかり分かるようになったので、すこく役に立ちました |
|       | ・Gアップシートを何枚もやるうちに、苦手だった英語がすこしわかるようになった            |
|       | ・すこく分かりやすかったし、内容をすぐに確認することができた                    |
|       | ・家庭学習で復習するのに、使いやすい、分かりやすい                         |

「注」 回答内容は生徒の記述どおり

代表的な内容を示す。【表7】に示すとおり、「問題の解き方がわかり、十分に練習できた」「使  
いやすく役に立った」という趣旨の記述が多数あり、生徒の学習を直接支援するというGアップ  
シートのねらいが十分に達成できたものとする。

一方、設問3で否定的な回答をした生徒の記述を見ると、「Gアップシートを使ってみたら、  
家庭学習などでしっかりした答えが書けなかった。でも前よりは覚えられるようになってきた」  
「教科書にそって学習できなかった気がする」というものが見られた。これらの回答から、Gア  
ップシートの活用方法については、使用場面や使用する問題を選択するといった点において検討  
の余地があるとする。

#### 4 Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための学習指導についてのまとめ

これまで、手だての試案に基づく授業実践を行い、実践結果の分析と考察をとおして、その有  
効性を考えてきた。その結果から、成果と課題についてまとめる。

##### (1) 成果

ア 新出の言語材料を導入する際に、Gアップシートを用いて学習内容をその場で確認したり  
練習させたりすることで、学習内容の定着を図ることができた。またこのことは、生徒が家  
庭学習等で復習を行う上でも、容易に学習内容を振り返ることができるという点で効果があ  
った。

イ 基礎的な力を身に付ける上で反復練習は欠かせない要素であるが、Gアップシートを活用  
することで、生徒に質・量ともに適切な練習を行わせることができ、語彙力や文法力の向上  
につながった。

ウ 既習の言語材料との関わりから、1年生において教科書で扱われる英文の量はかなり限定  
されたものとなっているが、Gアップシートの読み取りシートを活用することで一定量の英  
文を読み取る活動を行うことができ、まとまった英文を読むことに慣れさせることができた。  
その結果、一語一文の理解を高めることができ、正確に把握する力を高めることができた。

エ Gアップシートを活用した後に解答状況を確認し評価することで、生徒に、自身の学習の  
実現状況を把握させることができ、家庭学習を含め、学習に対する意欲を喚起することがで  
きた。

##### (2) 課題

ア 教科書の進度とのかかわりで、どの場面でどのシート（あるいはどの問題）を使用するか  
を十分に検討する必要がある。

イ 個に応じた指導におけるGアップシートの活用方法について、工夫する必要がある。

以上のことから、課題はあるものの、中学校第1学年英語科におけるGアップシートの活用を  
とおした学習指導は、読み取る力を高める上で効果があるとする。

#### 研究のまとめと今後の課題

##### 1 研究のまとめ

本研究の全体をとおして得られた成果は以下のとおりである。

##### (1) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本構想の立案

中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための基本的な考え方や、Gアップシー  
トを活用した学習指導のあり方を明らかにして、基本構想にまとめることができた。

(2) 基本構想に基づく手だての試案の作成

基本構想で述べたことを基に、手だての試案を作成する上での留意点を明らかにし、Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための手だての試案及びその検証計画と調査計画を作成することができた。

(3) 授業実践、実践結果及び意識調査の分析と考察

手だての試案で述べたことを基に、Gアップシートの活用をとおして読み取る力を高めるための授業実践を行うことができた。また、その分析をとおして手だての試案が有効であったことが確かめられた。

(4) 中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための学習指導についてのまとめ

中学校第1学年英語科における読み取る力を高めるための学習指導について、成果と課題を明らかにすることができた。

2 今後の課題

「話す」「聞く」といった実践的コミュニケーション能力の育成は、今日の英語教育の重要課題として取り上げられているが、「言語」というコミュニケーションの道具を用いて身の回りの情報や他者の考えを自分の中に取り入れたり、自分の考えを表出したりする作業において、「読み取る」能力の育成は欠かせないものとする。

本研究ではGアップシートの活用をとおして読み取る力を高める学習指導を明らかにしてきた。読み取る力を高めるためには、基本構想で述べた三つの力を高めることが必要であり、とりわけ「基礎的な力」である、語彙力、文法力及び音声と文字の連結力を高めることが重要であることを改めて実感した。

今後は本研究で明らかになった成果と課題を踏まえ、読み取る力を高めるための、より効果的な学習指導について更に研究を進めていきたい。

<おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と生徒のみなさんに心から感謝を申し上げ、結びのことばといたします。

【参考文献】

- 門田修平・野呂忠司(2001),『英語リーディングの認知メカニズム』,くろしお出版  
サンドラ・シルバスタイン,萬戸克憲訳(1997),『自立した読み手を育てる新しいリーディング指導』,大修館書店  
高梨庸雄・高橋正夫(1987),『英語リーディング指導の基礎』,研究社出版  
土屋澄男(2004),『英語コミュニケーションの基礎を作る音読指導』,研究社  
和田稔編(1990),『中学校外国語(英語)科 3読むことの指導事例』,明治図書

【参考Webページ】

三枝 幸夫 TOEIC ガイダンス <http://www.nullarbor.co.jp/tg/>



## 【補充資料】

### <目 次>

#### 【補充資料1】

読み取る力の育成状況を見る事前・事後テスト-----資1

#### 【補充資料2 - 】

単元( Unit 5 part 1 )の授業展開案( 1 / 6時間) -----資3

単元( Unit 5 part 1 )の授業展開案( 2 / 6時間) -----資3

#### 【補充資料2 - 】

単元( Unit 5 part 2 )の授業展開案( 3 / 6時間) -----資4

単元( Unit 5 part 2 )の授業展開案( 4 / 6時間) -----資4

#### 【補充資料2 - 】

単元( Unit 5 part 3 )の授業展開案( 5 / 6時間) -----資5

単元( Unit 5 part 3 )の授業展開案( 6 / 6時間) -----資5

#### 【補充資料3 - 】

単元( Unit 5 part 1 )で活用したGアップシート( B - 1 ) -----資6

単元( Unit 5 part 1 )で活用したGアップシート( B - 2 ) -----資6

#### 【補充資料3 - 】

単元( Unit 5 part 2 )で活用したGアップシート( B - 3 ) -----資7

単元( Unit 5 part 2 )で活用したGアップシート( B - 4 ) -----資7

#### 【補充資料3 - 】

単元( Unit 5 part 3 )で活用したGアップシート( B - 5 ) -----資8

単元( Unit 5 part 3 )で活用したGアップシート( B - 6 ) -----資8

#### 【補充資料4】

教科書本文の内容確認のための補助シート-----資9

#### 【補充資料5】

Gアップシートを活用した学習についての意識調査用紙-----資10

【補充資料1】読み取る力の育成状況を見る事前・事後テスト

第1学年英語 「読むこと」に関するテスト

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

【1】下の(1)~(7)は、3つの英語の単語を区切らないで表しています。  
(例) にならって3つの単語を斜線で区切りなさい。

|        |            |    |              |
|--------|------------|----|--------------|
| (例) 問題 | dogcarmilk | 解答 | dog/cat/milk |
|--------|------------|----|--------------|

(1) t h a t m y t h i s

(2) m u s i c b u s p i a n o

(3) h a v e g o l i s t e n

(4) c a t d e s k t r a i n

(5) f i v e t h r e e t e n

(6) c o m e k n o w s t u d y

(7) h e y o u s h e

【2】次の(1)~(5)の日本語を表す英文になるように、( )内の語を適切に並べ替えて、文の先頭に来る単語も小文字で書かれています。ただし、文の先頭に来る単語も小文字で書かれています。

(1) 私はカナダの出身です。 (ア Canada イ I'm ウ from) \_\_\_\_\_

(2) あれは学校ですか。 (ア that イ a school ウ is) \_\_\_\_\_ ?

(3) あなたはギターを弾きますか。 (ア play イ you ウ the guitar エ do) \_\_\_\_\_ ?

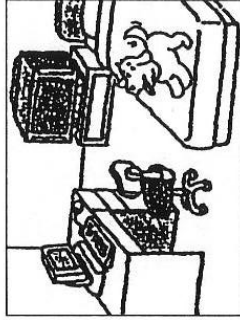
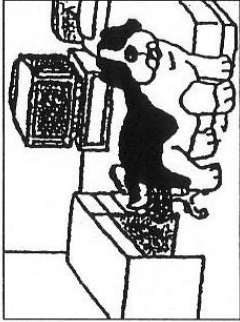
(4) 僕はサッカーをしません。(ア don't イ soccer ウ play エ I)

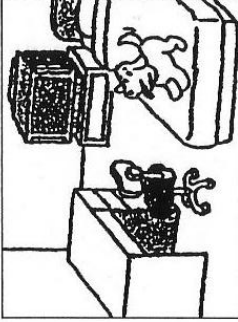
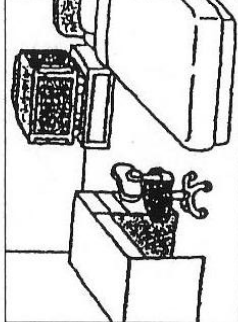
(5) あなたの一番好きな教科は何ですか。  
(ア subject イ your ウ what's エ favorite) \_\_\_\_\_ ?

【3】次の対話文を読み、その内容に合う適切な絵を下のア~エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。

Midori : Do you have a desk?  
Jiro : Yes, I do.  
Midori : Do you have a computer?  
Jiro : No, I don't.  
Midori : Do you have a dog?  
Jiro : Yes, I do. It's not a big dog.  
Midori : OK. This is your room.

注 desk : 机  
computer : コンピュータ  
room : 部屋

ア  イ 

ウ  エ 

解答 \_\_\_\_\_

【4】 絵美、慎、ジュディが会話をしています。慎とジュディは初対面です。  
次の対話文を読み、( )に入れるのにもっとも適切な英文を下からそれぞれ選び、  
記号で答えなさい。

|        |                                                |  |
|--------|------------------------------------------------|--|
| Emi :  | Good morning,Shin.                             |  |
| Shin : | Good morning,Emi.                              |  |
| Emi :  | Shin,this is Judy. ( )                         |  |
|        | Judy,this is Shin. ( )                         |  |
| Judy : | Hi,Shin. ( )                                   |  |
| Shin : | Nice to meet you, too.                         |  |
| Shin : | Do you like music,Judy?                        |  |
| Judy : | Yes,I like music very much. ( )                |  |
| Shin : | I like music,too. I play the guitar every day. |  |
|        | ( )                                            |  |
| Judy : | No,I don't. I play the flute.                  |  |
| Shin : | Oh,really?                                     |  |

解答

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ア Nice to meet you.    イ How about you?    ウ He's my friend,too.  
エ She's my friend.    オ Do you play the flute,too?  
カ Do you play the guitar,too?

【5】 中学生のヒカル君は、学校の駐車場でアメリカ人のホワイト先生と話しています。  
次の2人の対話文を読んで、下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

|        |                                                                                                |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヒカル    | : Do you like cars?                                                                            |
| ホワイト先生 | : Yes,I do. I like cars. How about you?                                                        |
| ヒカル    | : Oh,yes! I like big cars.<br>(近くの車を指さして) Mr.White, is this your car?                          |
| ホワイト先生 | : No,it's not. I don't have a car in Japan.<br>So,I walk to school. Do you walk to school,too? |
| ヒカル    | : No,I don't. I come by bike. But I like walking.                                              |

注 cars, car : 車  
so : だから

(1) ヒカル君について正しく述べているものはどれですか。  
次のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。

(1)

ア ヒカル君は、小さい車が好き。  
イ ヒカル君は、大きい車が好き。  
ウ ヒカル君は、赤い車が好き。  
エ ヒカル君は、車が好きではない。

解答

(2) ヒカル君について正しく述べているものはどれですか。  
次のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。

(2)

ア 歩くことが好きだが、自転車で学校に来る。  
イ 歩くことが好きではないので、自転車で学校に来る。  
ウ 歩くことが好きで、歩いて学校に来る。  
エ 歩くことが好きではないが、歩いて学校に来る。

解答

(3) ホワイト先生について正しく述べているものはどれですか。次のア～エの  
中から1つ選び、その記号を書きなさい。

(3)

ア バスで学校へ通勤している。  
イ 車で学校へ通勤している。  
ウ 歩いて学校へ通勤している。  
エ 自転車で学校へ通勤している。

解答

\_\_\_\_\_

【 補充資料 2 - 】 単元 ( Unit 5 part 1 ) の 授業 視 察 報 告

| 「Unit 5 Part 1」の指導展開案 ( 2 / 6 時間 )<br>(1) 目標 教科書本文の内容を理解することができる。<br>(2) 展開 |                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 段階                                                                          | 学習内容                                                                            | 学習活動<br>補助教材及び指導上の留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | Gアップシートの活用<br>・ 具体的活用方法                                                                     |
| 導入<br>10分                                                                   | 1 前時の復習                                                                         | ・ 前時に課した課題を小テストで確認する。<br>前時と同様の問題で小テストを行うことで、前時の学習内容の定着度を見る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | B-1[3]に、教師が話した言葉を書き取らせる。<br>B-1[3]のみのシートを配布し、前時と同様、教師が「数」と「もの」を表す英語を話し、シートに書き取らせる。          |
|                                                                             | 2 新出語句の確認 ( 5 分 )<br>3 本文の音読 ( 5 分 )<br>4 本文の内容確認 ( 5 分 )<br>5 読み取りの練習 ( 20 分 ) | 英語を読み取る<br>・ 予習ノートの確認をする。<br>・ 発音、意味の確認、練習をする。<br>フラッシュカードを使用する。<br>教師の後ろについて読む。<br>個人で練習する。<br>ペアやグループで練習する。<br>生徒全員で読む。<br>発音、音読練習においては、しっかり声を出して練習するように促す。<br>補助シートの設問に従って内容の確認をする。<br>再度全員で本文の音読をする。<br>補助シートを使用する。<br>内容確認後に音読活動を取り入れることで、内容理解の定着を図る。<br>読み取り問題に取り組む。解答時間を設定することで、限られた時間の中で取り組むことを意識させる。<br>生徒の学力に応じて辞書や教科書を見ることを指示し、あきらめずに取り組むことを意識させる。また、解答が進まない生徒には机間指導により支援する。 | B-1[3]に、「読み取る」問題に取り組ませる。<br>教師の後ろについて本文を音読させる。<br>個人で問題に取り組み、全体で答え合わせをする。<br>全体で本文の音読練習をする。 |
| 展開<br>35分                                                                   | 3 本時のまとめ                                                                        | ・ 本時の学習を振り返る。<br>補助シートを使用する。<br>本時の目標にどれくらい近づけたか、自己評価をさせる。<br>次時は Part 2 を学習することを確認する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                             |
| 終末<br>5分                                                                    |                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                             |

| 「Unit 5 Part 1」の指導展開案 ( 1 / 6 時間 )<br>(1) 目標 名詞の複数形を理解することができる。<br>(2) 展開 |                                 |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 段階                                                                        | 学習内容                            | 学習活動<br>補助教材及び指導上の留意点                                                                                                                                                           | Gアップシートの活用<br>・ 具体的活用方法                                                                                             |
| 導入<br>10分                                                                 | 1 既習事項の復習                       | ・ 教科書 ( p. 22 ) を用いて、「数」を表す単語の復習をする。                                                                                                                                            | B-1[1]で「数」を表す単語の復習をさせる。<br>教科書を用いて、教師の後ろについて十分に数を表す単語を書かせ、シートに数字を確認させる。<br>ペアやグループで答え合わせを行い、音読練習の定着を図る。             |
|                                                                           | 2 基本文の理解と練習 ( 5 分 )<br>( 10 分 ) | 「 2 つ以上のもの 」 を英語で表現しよう<br>・ 名詞の複数形の表し方を理解する。<br>・ 音が描かれたカードを見ながら、単語を確認する。<br>「 cat, T-shirt, desk 」 等が書かれているカードを使用する。<br>数名の生徒に、カードに書かれているものを英語で言わせる。<br>複数形についての説明を聞いて理解、練習する。 | B-1[2]で複数形について確認させる。<br>教科書を用いて複数形の作り方を確認し、シートの説明文に言葉を書かせる。<br>シートの単語で書かれた単語を複数形に入力させる。<br>ペアやグループで答え合わせ、間違いを修正させる。 |
| 展開<br>35分                                                                 | ( 10 分 )                        | 班内で協力しながら、教師が話した「数」と「もの」を当てる。<br>班内で順番を決めさせ、教師が示したカードについて、全生徒に「数」と「もの」のカードを選ばせる。                                                                                                | B-1[3]に、教師が話した英語を書き取らせる。<br>シートに教師が話した英語を表す名詞の複数形の表し方を練習する。<br>上位の生徒には [1][2] を見ながら、下位の生徒には見ながら書いてもよい、と指示を出す。       |
|                                                                           | 3 本時のまとめ                        | ・ 「今日のとめ」をノートに書く。<br>本時に学習したことをまとめ、学習の定着を図る。<br>・ 次時の始めに、数と複数形について小テストを行うことを確認する。<br>・ P. 42 新出語句の予習をして、確認することを確認する。                                                            |                                                                                                                     |
| 終末<br>5分                                                                  |                                 |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                     |

【 補充資料 2 - 】 単元 ( Unit 5 part 2 ) の 授業 視 察 報 告

| 「Unit 5 Part 2」の指導展開案 ( 4 / 6 時間 )                   |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 目標 教科書本文の内容を理解することができる。<br>まとまりのある英文を読み取ることができる。 |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |
| (2) 展開                                               |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |
| 段階                                                   | 学習内容                                                                                                                                                    | 学習活動<br>補助教材及び指導上の留意点                                                                                                                                                                                   | Gアプシートの活用<br>・ 具体的活用方法                                                                                     |
| 導入                                                   | 1 前時の復習                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教師と「いくつ」とたずねる表現について会話をし、前時の学習内容を思い出す。</li> <li>前時と同様、教師があらかじめ準備しておいたものについて、その数を英語で尋ね、前時の学習内容を想起させる。</li> </ul>                                                   |                                                                                                            |
| 10分                                                  |                                                                                                                                                         | 英文を読み取る                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                            |
| 展開                                                   | 2 新出語句の確認 ( 5 分 )                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>予習ノートの確認をする。</li> <li>発音、意味の確認、練習をする。</li> <li>フラッシュカードを使用する。</li> <li>教師の後ろについて読む。</li> <li>個人で練習する。</li> <li>ペアやグループで練習する。</li> <li>生徒全員で読む。</li> </ul>        | B 4 を用いて、「読み取る」問題に取り組ませる。<br>・ 教師の後ろについて本文を音読させる。<br>・ 個人で問題に取り組ませる。<br>・ 全体で答え合わせをする。<br>・ 全体で本文の音読練習をする。 |
|                                                      | 3 本文の音読 ( 5 分 )                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |
|                                                      | 4 本文の内容確認 ( 5 分 )                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>発音、音読練習においては、しつかり声を出して練習するように促す。</li> <li>補助シートの設問に従って内容の確認をする。</li> <li>再度全員で本文の音読をする。</li> <li>補助シートを使用する。</li> <li>内容確認後に音読活動を取り入れることで、内容理解の定着を図る。</li> </ul> |                                                                                                            |
|                                                      | 5 読み取りの練習 ( 20 分 )                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>読み取り問題に取り組み、解答時間を設定することで、限られた時間の中で取り組むことを意識させる。</li> <li>生徒の学力に応じて辞書や教科書を見ることを指示し、あきらめずに取り組みことを意識させる。また、解答が進まない生徒には机間指導により支援する。</li> </ul>                       |                                                                                                            |
|                                                      | 35分                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |
| 3 本時のまとめ                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返る。</li> <li>補助シートを使用する。</li> <li>本時の目標にどれくらい近づいたか、自己評価させる。</li> <li>次時は Part 3 を学習することを確認する。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |
| 5分                                                   |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                            |

| 「Unit 5 Part 2」の指導展開案 ( 3 / 6 時間 )   |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 目標 "How many ~ " の表現を理解することができる。 |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      |
| (2) 展開                               |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      |
| 段階                                   | 学習内容                                                                                                                                   | 学習活動<br>補助教材及び指導上の留意点                                                                                                                                       | Gアプシートの活用<br>・ 具体的活用方法                                                                                                                                               |
| 導入                                   | 1 既習事項の復習                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の疑問文の作り方を復習する。</li> <li>「主語 + 動詞」の位置や、「Do you ~ " の文における " Do " の位置を確認させる。</li> </ul>                            | B-3[1] で既習事項の復習をさせる。<br>・ 一般動詞の肯定文と疑問文をシートに書かせる。<br>・ シートに書き込んだ後、発表させて、全体で口頭練習を行う。                                                                                   |
| 10分                                  |                                                                                                                                        | 「いくつ」とたずねる表現を覚えよう                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                      |
| 展開                                   | 2 基本文の理解と練習 ( 5 分 )                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>教師と英語で会話をすることで、「いくつ」とたずねる表現を見つける。</li> <li>教師があらかじめ準備しておいたものについて、複数の生徒にその数を英語で尋ねることを通じて、数を尋ねる表現について推測させる。</li> </ul> |                                                                                                                                                                      |
|                                      | ( 15 分 )                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>"How many ~ " の使い方を確認し、練習する。</li> <li>練習が進まないペアには個別に基本文の説明をして、理解を促す。</li> </ul>                                      | B-3[2] で数を尋ねる表現の練習をさせる。<br>・ 提示された品物について、自分がいくつ持っているかをシートに書き込ませる。<br>・ 英語で数を尋ねる文をシートに書かせる。<br>・ 黒板を用いて、数を尋ねる文について全体で確認する。<br>・ B-3[1] の (1) を用いて答え方を確認し、ペアで会話練習をさせる。 |
|                                      | ( 15 分 )                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本表現の練習をする。</li> <li>解答が進まない生徒には、黒板で確認したことを示して、語順について意識させる。</li> </ul>                                               | B-3[3] を使用する。<br>・ [3] の練習問題に取り組ませる。<br>・ 黒板を用いて答え合わせを行った後、全体で口頭練習を行う。                                                                                               |
| 35分                                  |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      |
| 3 本時のまとめ                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>「今日のまとめ」をノートに書く。</li> <li>本時に学習したことをまとめ、学習の定着を図る。</li> <li>p.44 新出語句の予習をしていくことを確認する。</li> </ul> |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      |
| 5分                                   |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      |

【 補 充 資 料 2 - 1 】 単 元 ( U n i t 5 p a r t 3 ) の 授 業 視 察 報 告

| Unit 5 Part 3 の指導展開案 ( 6 / 6 時間 )                       |                    | Unit 5 Part 3 の指導展開案 ( 5 / 6 時間 )                                                                                                                                                           |                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 目標<br>教科書本文の内容を理解することができる。<br>まとまりのある英文を読み取ることができる。 |                    | (1) 目標<br>"Let's ~" の表現と命令文を理解することができる。                                                                                                                                                     |                                                                                                                                       |
| (2) 展開                                                  |                    | (2) 展開                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                       |
| 段階                                                      | 学習内容               | 学習活動<br>補助教材及び指導上の留意点                                                                                                                                                                       | G アップシートの活用<br>・ 具体的活用方法                                                                                                              |
| 導入                                                      | 1 前時の復習            | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p.47 Your Turn の確認をする。</li> <li>"All right." など、返答の表現も確認し、ペア練習に臨ませる。</li> </ul>                                                                  | B-5[1] で既習の一般動詞を復習させる。                                                                                                                |
| 10分                                                     |                    | 英文を読み取る                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>薄字の単語をていねいになぞらせる。</li> <li>単語の意味を( ) に書かせる。</li> <li>ペアで答え合わせをした後、教師の後に発音練習をさせる。</li> </ul>    |
| 展開                                                      | 2 新出語句の確認 ( 5 分 )  | <ul style="list-style-type: none"> <li>予習ノートの確認をする。</li> <li>発音、意味の確認、練習をする。</li> </ul>                                                                                                     |                                                                                                                                       |
|                                                         | 3 本文の音読 ( 5 分 )    | <ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュカードを使用する。</li> <li>教師の後に発音練習をする。</li> <li>個人で練習する。</li> <li>ペアやグループで練習する。</li> <li>生徒全員で読む。</li> <li>発音、音読練習においては、しつかり声を出して練習するよう促す。</li> </ul> |                                                                                                                                       |
|                                                         | 4 本文の内容確認 ( 5 分 )  | <ul style="list-style-type: none"> <li>補助シートの設問に従って内容の確認をする。</li> <li>再度全員で本文の音読をする。</li> <li>補助シートを使用する。</li> <li>内容確認後に音読活動を取り入れることで、内容理解の定着を図る。</li> </ul>                               | B-6 を用いて、「読み取る」問題に取り組ませる。                                                                                                             |
|                                                         | 5 読み取りの練習 ( 20 分 ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>読み取り問題に取り組み、解答時間を設定することで、限られた時間の中で取り組むことを意識させる。</li> <li>生徒の学力に応じて辞書や教科書を見ることを指示し、あきらめずに取り組みを意識させる。</li> <li>また、解答が進まない生徒には机間指導により支援する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の後に本文を音読させる。</li> <li>個人で問題に取り組ませる。</li> <li>全体で答え合わせをする。</li> <li>全体で本文の音読練習をする。</li> </ul> |
|                                                         | 35分                | 3 本時のまとめ                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返る。</li> <li>補助シートを使用する。</li> <li>本時の目標にどれくらい近づけたか、自己評価させる。</li> </ul>                 |
| 終末                                                      | 5分                 |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                       |

| Unit 5 Part 3 の指導展開案 ( 5 / 6 時間 )       |                                 | Unit 5 Part 3 の指導展開案 ( 6 / 6 時間 )                                                                                                                                                         |                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 目標<br>"Let's ~" の表現と命令文を理解することができる。 |                                 | (1) 目標<br>教科書本文の内容を理解することができる。<br>まとまりのある英文を読み取ることができる。                                                                                                                                   |                                                                                                                                    |
| (2) 展開                                  |                                 | (2) 展開                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                    |
| 段階                                      | 学習内容                            | 学習活動<br>補助教材及び指導上の留意点                                                                                                                                                                     | G アップシートの活用<br>・ 具体的活用方法                                                                                                           |
| 導入                                      | 1 既習事項の復習 ( 5 分 )               | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の一般動詞を復習する。<br/>walk study drive go have listen speak use</li> <li>薄字をなぞらせる際、合わせて発音しながら書くよう促す。</li> <li>意味を覚えていない生徒については、辞書を使うよう指示する。</li> </ul> | B-5[1] で既習の一般動詞を復習させる。                                                                                                             |
| 10分                                     |                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の肯定文を復習する。</li> <li>一般動詞の肯定文が書かれたカードを使用し、口頭練習をさせる。</li> </ul>                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>薄字の単語をていねいになぞらせる。</li> <li>単語の意味を( ) に書かせる。</li> <li>ペアで答え合わせをした後、教師の後に発音練習をさせる。</li> </ul> |
| 展開                                      | 「～しよう」「～してください」「～なさい」という表現を覚えよう |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                    |
|                                         | 2 基本文の理解と練習 ( 10 分 )            | <ul style="list-style-type: none"> <li>「～しよう」という文を確認する。</li> <li>単語 "Let's" を確認し、前出の肯定文を「～しよう」という文に変えさせる。</li> </ul>                                                                      |                                                                                                                                    |
|                                         | ( 10 分 )                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>命令文の作り方を教科書 p.44 の注釈で確認し、前出の肯定文を命令文に変えさせる。</li> </ul>                                                                                              |                                                                                                                                    |
|                                         | ( 10 分 )                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>「～しよう」という文と命令文の練習をする。</li> <li>解答が進まない生徒には、黒板で確認したことを示して、語順について意識させる。</li> </ul>                                                                   | B-5[2] で "Let's ~" の表現と命令文の練習をさせる。                                                                                                 |
|                                         | 35分                             | 3 本時のまとめ                                                                                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p.47 Listen に取り組む。</li> </ul>                                                           |
| 終末                                      | 5分                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>本時に学習したことをまとめ、学習の定着を図る。</li> <li>p.46 新出語句の予習をして、確認することを確認する。</li> <li>p.47 Your Turn を宿題とすることを確認する。</li> </ul>                                    | B-5[3] に p.47 Your Turn を書いてくるよう、指示する。                                                                                             |

第 1 学 年 英 語 科    U n i t 5    ビ ク ニ ッ ク に 行 こ う    ( C o u r s e B - 1 )  
**G ア ッ プ シ ー ト**  
 この シ ー ト の 目 標 : P a r t 1 に 出 て く る 基 本 文 の 確 認 を し よ う

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

【 1 】 1 ~ 1 0 ま で の 数 を 英 語 で 書 き な さ い 。 ま た 、 声 に 出 し て 読 み な さ い 。

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_

5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_

8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_ 10 \_\_\_\_\_

【 2 】 次の日本語の空欄に適切な語をいれ、下の単語の複数形を書きなさい。

名詞を複数形にするときは、単語の終わりに \_\_\_\_\_ や \_\_\_\_\_ をつける。

(1) cat \_\_\_\_\_ (6) dog \_\_\_\_\_

(2) T-shirt \_\_\_\_\_ (7) sweater \_\_\_\_\_

(3) desk \_\_\_\_\_ (8) eraser \_\_\_\_\_

(4) bike \_\_\_\_\_ (9) train \_\_\_\_\_

(5) bus \_\_\_\_\_ (10) box \_\_\_\_\_

【 3 】 先生が話す英語を下の4線に書きなさい。 例 : two guitars

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

第 1 学 年 英 語 科    読 み 取 り シ ー ト    ( C o u r s e B - 2 )  
**G ア ッ プ シ ー ト**  
 この シ ー ト の 目 標 : 会 話 文 を 読 み 取 ろ う

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

【 1 】 英語の時間に佐藤先生が自己紹介をしています。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

*Ms.Sato :* Hello, everyone. I'm Sato Kazuko. I'm from Morioka.  
 I like tennis. I like music, too. I play the piano.

*Emi :* Do you play the guitar, too ?

*Ms.Sato :* No, I don't. But I play the violin, too.

*Shin :* Do you come to school by car ?

*Ms.Sato :* Yes, I do. I drive a car. Do you come by bike ?

*Shin :* No, I don't. I walk to school.

(1) 佐藤先生が自分のことについて述べている文に赤ペンで線を引きなさい。

(2) あなたが佐藤先生を紹介する文を日本語で書きなさい。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(3) 上の会話を自分で1度声に出して読みなさい。  
 その後「佐藤先生」と「絵美・慎」の役に分かれて、隣の人と2回読みなさい。  
 読み終わったら、下のチェックボックスを塗りつぶしましょう。

Check Box :     1     2     3

第1学年英語科 Unit 5 ビクニックに行こう (Cours B-3)  
**G アップシート**  
このシートの目標: Part 2 に出でくる基本文の確認をしよう

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

【1】 次の日本語を英語に直しなさい。  
 (1) 「私は猫を3匹飼っています。」(飼っている: have)  
 I have \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 (2) 「君は猫を3匹飼っていますか。」  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 (3) 「あなたはCDを10枚持っていますか。」  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

【2】 あなたが下に書かれたものをいくつ持っているか、数字を書きなさい。  
 また、友達がいくつ持っているかたずねる文を下の4線に書き、友達にたずねてみましょう。  
 あなたは「CDを \_\_\_\_\_ 枚」「まんが本を \_\_\_\_\_ 冊」「ゲームを \_\_\_\_\_ 個」持っている。  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

【3】 次の日本語の内容を英語で表現するとき、正しい語順になるように( )内を並べ替えて、英文を完成させなさい。  
 (1) ( have / how many / do / you / books / ? ) 「本を何冊持っていますか。」  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 (2) ( subjects / you / how many / do / study / ? ) 「何教科勉強しますか。」  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 (3) ( many / do / balls / want / you / how / ? ) 「ボールを何個ほしいですか。」  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 (4) ( want / I / five / . ) 「5個ほしいです。」 (3)に答えて  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

第1学年英語科 読み取りシート (Cours B-4)  
**G アップシート**  
このシートの目標: 会話を聞き取り

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

【1】 慎と絵美が英語で会話をしています。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

Shin : What's that ?  
 Emi : This is an English book , \*Mother Goose .  
 Do you know ?  
 Shin : Yes, I do. Do you \*read English ?  
 Emi : Yes, but it's \*hard. Do you like English ?  
 Shin : No, I don't.  
 Emi : What's your favorite subject ?  
 Shin : I like Japanese. I like \*Natsume Soseki .  
 Emi : How many \*stories do you read ?  
 Shin : \*About five. My favorite \*story is *Bocchan* .  
 Emi : \*That's good.

\* Mother Goose : マザーグース read : 読む hard : 難しい  
 Natsume Soseki : 夏目漱石 stories , story : 小説  
 about : だいたい That's good. : それはいいね  
 マザーグースは、英語圏の子供たちに多く読まれているお話集です。

(1) 話題の中心となっている事柄は何ですか。 読んでいる本 英語 「坊ちゃん」

(2) Mother Goose を読んでいるのは誰ですか。( )

(3) Shin が好きな教科は何ですか。( )

(4) Shin は何をどれくらい読んでいますか。( )

(5) Shin が一番好きな小説は何ですか。( )

(6) 上の会話を自分で1度声に出して読みなさい。  
 その後「慎」と「絵美」の役に分かれて、隣の人と2回読みなさい。  
 読み終わったら、下のチェックボックスを塗りつぶしましょう。

Check Box :     1     2     3





Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

【Part 1】教科書の本文について、下の問いに日本語で答えなさい。

また、その答えが述べられている（教科書の）英語（の文）に線を引きなさい。

- (1) 買い物をしているのは誰ですか。 ( )
- (2) 「何を」「いくつ」買いましたか。 ( )
- (3) 店内で食べることにしましたが、それとも持ち帰ることにしましたか。  
( )
- (4) 代金はいくらですか。 ( )

【Part 2】教科書の本文について、下の問いに答えなさい。

- (1) 絵美がマイクに二つ質問をしています。それぞれ日本語に直しなさい。

Do you often listen to music?  
( )

How many CDs do you have?  
( )

- (2) マイクはハンバーガー以外に何を持っていますか。( )

- (3) それはどの単語から分かりますか。単語3語で答えなさい。

\_\_\_\_\_

- (4) p.44 3行目 " here " が指している場所は具体的にどこでしょう。  
( )

- (5) マイクはCDを今何枚持っていますか。( )

【Part 3】教科書の本文について、下の問いに日本語で答えなさい。

- (1) 次の英語を日本語に直しなさい。

Let's have lunch.  
( )

I don't have any tissues.  
( )

Use this.  
( )

- (2) マイクが何か失敗をしてしまいました。それは何ですか。  
( )

- (3) それを見て絵美はどうしましたか。  
( )

英語学習に関するアンケート ( Questionnaire )

組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

授業で使用した「Gアップシート」についてたずねます。

1 「Gアップシート」の「問題のレベル」はどうでしたか。  
下から1つ選び「 」をつけなさい。

|    |   |      |   |       |   |     |
|----|---|------|---|-------|---|-----|
| 1  | - | 2    | - | 3     | - | 4   |
| 簡単 |   | やや簡単 |   | 少し難しい |   | 難しい |

2 「Gアップシート」の「問題は易教」はどうでしたか。  
下から1つ選び「 」をつけなさい。

|     |   |         |   |        |   |        |   |    |
|-----|---|---------|---|--------|---|--------|---|----|
| 1   | - | 2       | - | 3      | - | 4      | - | 5  |
| 少ない |   | ちょっと少ない |   | ちょうどよい |   | ちょっと多い |   | 多い |

3 「Gアップシート」を使った学習はあなたの役に立ちましたか。  
下から1つ選び「 」をつけなさい。

|       |   |               |   |                  |   |          |
|-------|---|---------------|---|------------------|---|----------|
| 1     | - | 2             | - | 3                | - | 4        |
| 役に立った |   | どちらかといえば役に立った |   | どちらかといえば役に立たなかった |   | 役に立たなかった |

4 3で「1」「2」と答えた人になぜねます。  
「Gアップシート」はどのような点で役に立ちましたか。  
当てはまるものすべてを選び、記号に「 」をつけなさい。  
また、選択肢以外に意見のある人は箱の中に記述しなさい。

ア 授業で学習した内容をすぐに確認することができた。  
イ 家庭学習などで、復習に使うことができた。  
ウ たくさん問題を解くことで、たくさん練習することができた。  
エ どう勉強すればよいか分かった。  
オ 分からなかったところが分かるようになった。  
カ その他 ( 下の箱の中に記入しなさい。 )

5 3で「3」「4」と答えた人になぜねます。  
「Gアップシート」のどのような点が役に立ちませんでしたか。  
当てはまるものすべてを選び、記号に「 」をつけなさい。  
また、選択肢以外に意見のある人は箱の中に記述しなさい。

ア 授業で学習した内容を確認することができなかった。  
イ 家庭学習などで、復習に使いなかつた。  
ウ たくさん練習することができなかった。  
エ どう勉強すればよいか分からなかつた。  
オ 分からなかつたところが分かるようにはならなかつた。  
カ その他 ( 下の箱の中に記入しなさい。 )

6 「Gアップシート」について、使ってみての感想、気づいたこと、ここがよかった、ここは直した方がよい、など自由に記述しなさい。